

平成27年度 第2回

社会教育委員の会議

- 日 時 平成27年12月22日(火)
午前9時30分～
- 会 場 市役所14階14A会議室

宇都宮市教育委員会

会 議 次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 報告事項

- ① 平成28年宇都宮市成人式について 【資料1】
- ② 第46回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会の参加報告について 【資料2】
- ③ 平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する施策事業の実績評価について 【資料3】
- ④ 南図書館の指定管理者の指定について 【資料4】

(2) 協議事項

- ① 平成28年度 社会教育関係団体に対する補助について 【資料5】

3 そ の 他

4 閉 会

宇都宮市社会教育委員名簿

任期：平成27年7月1日～平成29年6月30日

区分	No.	氏名	役職名等	備考
学校教育 関係者	1	うえの しゅういち 上野 修一	宇都宮南高等学校長 (栃木県高等学校長会宇都宮支部)	
	2	もちだ てるとよ 持田 光世	横川中学校長 (宇都宮市中学校長会)	
	3	いなきみのる 稲木 実	姿川第二小学校長 (宇都宮市小学校長会)	
	4	いまい まきのり 今井 政範	認定こども園さくらが丘理事長 (宇都宮地区幼稚園連合会)	
社会教育 関係者	5	すやま ひろふみ 須山 裕史	公益社団法人宇都宮青年会議所理事長	
	6	くしぶち すみえ 榎渕 澄江	宇都宮市地域婦人会連絡協議会会長	
	7	みむら しょうじ 三村 松司	宇都宮市体育協会副会長	
	8	まつもと こうげん 松本 弘元	宇都宮市文化協会常任理事	
	9	はしもと ひろふみ 橋本 裕文	宇都宮市子ども会連合会会長	
	10	かねだ あつし 金田 淳	宇都宮市PTA連合会会長	
	11	たかはし つとむ 高橋 勉	宇都宮市地域まちづくり推進協議会幹事	
	12	かつた けんいち 勝田 健一	宇都宮市青少年指導員会会長	
	13	かとう ふみこ 加藤 史子	一条中学校魅力ある学校づくり地域協議会 地域コーディネーター	
家庭教育 関係者	14	こいけ みさこ 小池 操子	宇都宮市親学習プログラム指導者	
学識 経験者	15	かわた たかし 河田 隆	宇都宮共和大学教授	
	16	ささき かずたか 佐々木 一隆	宇都宮大学教授	
	17	わかぞの ゆうしろう 若園 雄志郎	宇都宮大学特任准教授	
	18	ますぶち ゆきお 増渕 幸男	上智大学名誉教授	
	19	ふなもと はじめ 舟本 肇	市議会議員	
	20	つかほら たけしげ 塚原 毅繁	市議会議員	

平成 28 年宇都宮市成人式について

1 目的

宇都宮市成人式は、20歳を迎えた新成人の門出を全市をあげて祝い励ますとともに、参加した新成人の「地域社会の一員としての自覚」や「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を育むことを目的として実施している。平成28年宇都宮市成人式についても、成人教育の第一歩として教育的意義を持った事業となるよう取り組んでいく。

2 主催・実施機関

主催 宇都宮市・宇都宮市教育委員会

実施機関 宇都宮市成人式各中学校区会場実施委員会

3 平成 28 年成人式の実施概要

(1) 日時

平成28年1月10日(日)

① 午前開催

受付	午前 9時30分～午前10時00分
成人式典	午前10時00分～午前10時20分
地域交流事業	午前10時20分～正午

② 午後開催

受付	午後 1時30分～午後 2時00分
成人式典	午後 2時00分～午後 2時20分
地域交流事業	午後 2時20分～午後 4時00分

(2) 成人式の内容等

① 成人式典

・目的

20歳を迎えた新成人の門出を、全市をあげて祝い、励ますもの

・内容

開式、国歌斉唱、宇都宮の歌斉唱、激励のことば(市長又は市長ビデオメッセージ)、お祝いのことば(市議会議長又は議長代理)、来賓紹介、誓いのことば(新成人代表)、閉式

② 地域交流事業

・目的

新成人の「地域社会の一員としての自覚」を促すとともに「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を育むもの

・内容

懇談会、地域の特性を活かした事業、地域の方への謝辞等

(3) 会場

25中学校区ごとの会場(ホテル・結婚式場 9施設25会場)

別紙参照

(4) 該当者

平成7年4月2日から平成8年4月1日の間に生まれた,本市住民基本台帳に登録されている者

※ ただし,本市出身者で市外に転出した等,本市の成人式への出席を希望する者も対象とする。

(5) 出席者推計

- ・ 該当者(当時の中学校卒業生数)
4,737人
- ・ 出席者(該当者×前回出席率)
3,882人

(6) 来賓

- ・ 市長招待者
国会議員,県議会議員,市議会議員,市社会教育委員,市生涯学習センター運営審議会委員
- ・ 実施委員長招待者
各実施委員会で決定

(7) 運営体制

- ・ 実施委員会
中学校区ごとに実施委員会を組織し,成人式の企画運営を行う。
実施委員の構成は,当該中学校区内の新成人及び社会教育関係団体構成員等による(20名程度)
- ・ 事務局
各生涯学習センターが事務局を担う。

4 その他

- ・ 社会教育委員の皆様には,例年通り市長招待者として成人式にご出席をお願いいたします。

平成28年成人式会場等一覧

 昨年からの変更部分

中学校区	推定 該当者 数	推定 出席者 数	推定 来賓者 数	合計	実施会場		担当生涯学習センター
					午前開催	午後開催	
一条	103	86	33	119		護国会館	中央生涯学習センター
陽北 県立のざわ特別支援学校 県立わかさ特別支援学校	215	171	21	192		ホテル東日本宇都宮	同上
旭	146	117	28	145	護国会館		同上
陽南	264	220	38	258	宇都宮東武ホテルグランデ		南生涯学習センター
陽西 作新学院中等部 宇短大附属中学校 文星芸大附属中学校 栃木県立盲学校 栃木県立聾学校 宇大附属特別支援学校	412	331	45	376		宇都宮グランドホテル	西生涯学習センター
星が丘 宇大附属中学校	370	305	36	341	宇都宮東武ホテルグランデ		北生涯学習センター
陽東 宇東高附属中学校	368	306	42	348	ホテルニューイタヤ		東生涯学習センター
泉が丘	257	213	31	244		ホテルニューイタヤ	同上
宮の原	214	188	29	217	宇都宮グランドホテル		西生涯学習センター
清原 海星女子学院中学校	247	176	30	206		二荒山会館	清原生涯学習センター
横川	157	132	21	153		ホテルマイステイズ宇都宮	横川生涯学習センター
瑞穂野	82	70	22	92	宇都宮グランドホテル		瑞穂野生涯学習センター
豊郷	186	164	26	190	ホテル東日本宇都宮		豊郷生涯学習センター
国本	113	96	26	122		ホテル東日本宇都宮	国本生涯学習センター
城山	109	90	22	112		コンセーレ	城山生涯学習センター
晃陽 県立富屋特別支援学校	96	83	23	106	ホテル丸治		篠井・富屋 生涯学習センター
姿川	213	167	26	193	コンセーレ		姿川生涯学習センター
雀宮	201	161	30	191	二荒山会館		雀宮生涯学習センター
鬼怒	201	161	28	189	ホテルマイステイズ宇都宮		平石生涯学習センター
宝木	124	101	23	124		宇都宮東武ホテルグランデ	北生涯学習センター
若松原	226	179	23	202		宇都宮東武ホテルグランデ	南生涯学習センター
上河内	98	74	17	91	ホテル東日本宇都宮		上河内生涯学習センター
古里	133	121	18	139	ホテルニューイタヤ		河内生涯学習センター
田原	114	95	22	117		ホテルニューイタヤ	同上
河内 県立岡本特別支援学校	88	75	15	90	ホテルマイステイズ宇都宮		同上
計	4,737	3,882	675	####	14会場	11会場	

開催日	平成28年1月10日（日曜日）		成人式該当者
開催時間	午前開催	午後開催	平成7年4月2日～平成8年4月1日の間に出生した次の何れかに該当する者 1 本市住民基本台帳に登録されている者 2 1以外で、本市成人式への出席を希望する者
受付	午前9時30分～10時	午後1時30分～2時	
式典	午前10時～10時20分	午後2時～2時20分	
記念事業	午前10時20分～正午	午後2時20分～4時	

第46回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会 第15回群馬県社会教育大会 開 催 要 項

1 研究主題

たくましく生きる力をはぐくむ社会教育のあり方
～温もりのある地域社会をめざして～



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」

2 開催趣旨

これまで、社会教育委員をはじめとする多くの社会教育関係者の方々が、各地域の課題と向き合いながら、その解決のために、様々な活動に取り組まれてきたところですが、一方で、社会教育については、その必要性、重要性が見えにくいとも言われています。

地域の活動に目を向ければ、地域人材を活用した事業の活性化、学校教育との連携、家庭教育支援など地域に根ざした実践が大きく実を結んできているところもあります。

少子高齢化、核家族化、価値観の多様化等により、地域や家庭の教育力の低下が叫ばれて久しい昨今、改めて、私たちの日々の実践をとおして、「社会教育の必要性、重要性」を発信していきたいものです。

人々の暮らしが便利になるにつれ多様な生活様式が生まれ、人間関係が希薄になったと言われていますが、社会教育を推進する上で何より大切なことは、人と人とのふれあいです。一人一人の住民が人の温かみにふれ、それを自分だけのものとせず、地域全体に循環していく社会を目指していきたいと思います。そして、そのためには、従来の社会教育の枠にとらわれず、様々な関係機関等と連携することにより、その可能性を広げていくことが重要であると考えます。

そこで本大会では、研究主題「たくましく生きる力をはぐくむ社会教育のあり方～温もりのある地域社会をめざして～」のもと、関東甲信越静各都県・市区町村の社会教育関係者が一堂に会し、主に関係機関等との連携に視点をあてながら様々な社会教育活動に接することとおして、今後の社会教育の在り方や、そのための社会教育委員の役割などについて研究協議することを趣旨とします。

3 期 日 平成27年11月5日(木)・6日(金)

4 会 場 全体会(1日目)

ベシア文化ホール 〒371-0017 前橋市日吉町1-10-1 TEL. 027-232-1111

分科会(2日目)

<第1、2、3分科会>

ベシア文化ホール 〒371-0017 前橋市日吉町1-10-1 TEL. 027-232-1111

<第4、5分科会>

群馬県生涯学習センター 〒371-0801 前橋市文京町2-20-22 TEL. 027-224-5700

5 参加者 関東甲信越静各都県・区市町村社会教育委員及び社会教育関係者、社会教育関係団体関係者、社会教育・生涯学習に関心のある者 等

6 主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、第46回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会実行委員会、群馬県社会教育委員連絡協議会、群馬県教育委員会、群馬県公民館連合会

7 後援 群馬県、群馬県市町村教育委員会連絡協議会、上毛新聞社、朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、FM GUNMA

8 参加費 3,500 円 (参加資料代として)

9 大会日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:30	
1日目 11月5日(木) 【全体会】				受付	開会	休憩	記念講演	休憩	パネル ディスカッション	閉会	情報交換会 (前橋さくらホテル)
2日目 11月6日(金) 【分科会】	受付	分科会 会場ごとに閉会									

10 大会内容

▶ **11月5日(木)【全体会】** **12:30 ~ 17:10 (受付開始 / 11:30)**

<全体会場>

ベイシア文化ホール

〒371-0017 前橋市日吉町1-10-1 TEL. 027-232-1111

(1) 開会行事 12:30 ~ 13:30 (60分)

- アトラクション
- 主催者挨拶等
- 表彰

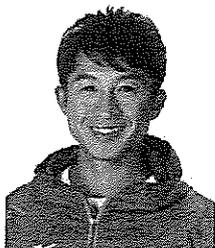
(2) 記念講演 13:50 ~ 15:10 (80分)

演題 「世界一をめざして-五輪選手育成の現場から-」

講師 荻原 健司 氏 (北野建設スキー部ゼネラルマネージャー)

<プロフィール>

1969年群馬県草津町出身。アルペールビルオリンピック、リレハンメルオリンピックで2大会連続金メダルに輝く。ワールドカップでは通算19勝、個人総合3連覇。世界選手権でも金メダルを獲得し「キング・オブ・スキー」と称賛される。引退後は、参議院議員としてスポーツ振興、教育問題、環境問題等を中心に取り組む。現在は、北野建設スキー部ゼネラルマネージャーとして後進の指導に当たるとともに講演活動など幅広く活躍中。



(3) パネルディスカッション 15:30 ~ 16:50 (80分)

テーマ 「温もりのある地域社会を目指した社会教育委員の今後の可能性について

~様々な機関との連携をとおして~」

◇パネリスト

- 志村 隆雄 氏 (高崎市社会教育委員会 議長)
- 藤田 和良 氏 (邑楽町教育委員会生涯学習課 生涯学習係長・社会教育主事)
- 木暮 裕 氏 (伊勢崎市立殖蓮第二小学校 校長)
- 太田 和雄 氏 (特定非営利活動法人キャリア倶楽部 理事長)

◇コーディネーター

- 櫻井 常矢 氏 (高崎経済大学地域政策学部 教授)

(4) 閉会行事 16:55 ~ 17:10 (15分)

- 次期開催県挨拶 (千葉県)
- 挨拶

<第1、2、3分科会>

ベイシア文化ホール

〒371-0017 前橋市日吉町1-10-1

TEL. 027-232-1111

<第4、5分科会>

群馬県生涯学習センター

〒371-0801 前橋市文京町2-20-22

TEL. 027-224-5700

◎社会教育委員等が、社会教育委員の役割や今後の社会教育の在り方等について協議する。

	活動領域	発表概要	助言者	会場
	発表市			
第1分科会	家庭教育支援	「家庭教育支援の事例報告を通して考える学校・家庭・地域の連携について」 はじめに南魚沼市内の小学校を拠点として先進的な活動を行なっている家庭教育支援チーム『だんぼの部屋』について組織の成り立ち、活動事例等の紹介・報告を行う。その後付随した形でまだ模索の段階ではあるが、南魚沼市社会教育委員の活動として相互に協力しあいながら連携を強めつつある現状について事例を交えて報告する。	大森 昭生 氏 共愛学園前橋国際大学 副学長・教授	ベイシア文化ホール 402会議室 (4階)
	南魚沼市 (新潟県)			
第2分科会	学校と地域との連携	「学校と地域を結ぶ学校支援ボランティアの役割」 学校の教育活動に地域の教育力を生かす上で学校支援ボランティアの役割は大きい。そこで、外国籍の市民との交流によって得た知識・技術を学校教育に取り入れた国際理解教育の実践と、各学校の保護者を学習支援ボランティアに巻き込んで地域の多文化共生に貢献する社会教育委員の活動を報告する。	清水 和夫 氏 群馬大学教職大学院 非常勤講師	ベイシア文化ホール 505・506会議室 (5階)
	鹿沼市 (栃木県)			
第3分科会	地域づくり	「生涯学習による人づくり、地域づくりのための仕組みづくり」 浜松市では、社会教育委員会の協議を踏まえ、生涯学習施設を活動の場とした、生涯学習の推進役の育成や市民主体による講座、大学との連携による講座の開催等を行い、地域における生涯学習の推進に取り組んでいる。生涯学習の推進を通して、人づくり、地域づくりを進めるための取組を報告する。	安保 博史 氏 群馬県立女子大学 教授	ベイシア文化ホール 403会議室 (4階)
	浜松市 (政令市)			
第4分科会	青少年教育	「『ふじかわっこ遊び塾』～地域に根ざした青少年健全育成の実践～」 「ふじかわっこ遊び塾」は、地域の大人による、学校や家庭にはない「ナナメの関係」を意識した活動である。地域社会と子どもとの関わりの希薄化が指摘されている中、遊びを通して子どもの心とつながる活動を実践している。地域企業や行政と連携しながら、地域で取り組む次代の子どもの育てる循環型社会を目指す活動を報告する。	矢端 義直 氏 前 東京福祉大学 教授	群馬県生涯学習センター 第1研修室 (4階)
	富士市 (静岡県)			
第5分科会	今日的課題への取組	「社会性の育成に向けた社会教育からのアプローチ」 前橋市社会教育委員会議では、「社会性を育む社会教育」をテーマに、NPOや大学等の関係機関と連携しながら協議を重ね、平成27年6月には協議の集大成として作成した提言書を市教育委員会に提出した。分科会では、提言の概要と提言完成までの協議の過程等について報告する。	太田 和雄 氏 特定非営利活動法人 キャリア倶楽部 理事長	群馬県生涯学習センター 多目的ホール (1階)
	前橋市 (群馬県)			

第46回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会実行委員会事務局

〒371-8570

群馬県前橋市大手町1-1-1

群馬県教育委員会事務局生涯学習課内

TEL. 027-226-4666

FAX. 027-224-8780

全 体 会 日 程

1 開会行事 12:30~13:30

- (1) アトラクション 「八木節」演奏 太田市八木節連合会
- (2) 開会の言葉 志村 隆雄 大会実行副委員長
- (3) 主催者挨拶 原口 光明 大会実行委員長
坂本 登 (一社) 全国社会教育委員連合副会長
吉野 勉 群馬県教育委員会教育長
- (4) 来賓祝辞 大澤 正明 群馬県知事
- (5) 歓迎の言葉 山本 龍 前橋市長
- (6) 表彰 社会教育功労者群馬県教育委員会表彰
平成 27 年度優良公民館群馬県教育委員会表彰
平成 27 年度群馬県社会教育委員連絡協議会表彰

2 記念講演 13:50~15:10

- 演 題 「世界一をめざして—五輪選手育成の現場から—」
- 講 師 荻原 健司 氏 (北野建設スキー部ゼネラルマネージャー)

3 パネルディスカッション 15:30~16:50

テーマ 「温もりのある地域社会を目指した社会教育委員の今後の可能性について
～様々な機関との連携をとおして～」

パネリスト

- 志村 隆雄 氏 (高崎市社会教育委員会議 議長)
- 藤田 和良 氏 (邑楽町教育委員会生涯学習課 生涯学習係長・社会教育主事)
- 木暮 裕 氏 (伊勢崎市立殖蓮第二小学校 校長)
- 太田 和雄 氏 (特定非営利活動法人キャリア倶楽部 理事長)

コーディネーター

- 櫻井 常矢 氏 (高崎経済大学地域政策学部 教授)

4 閉会行事 16:55~17:10

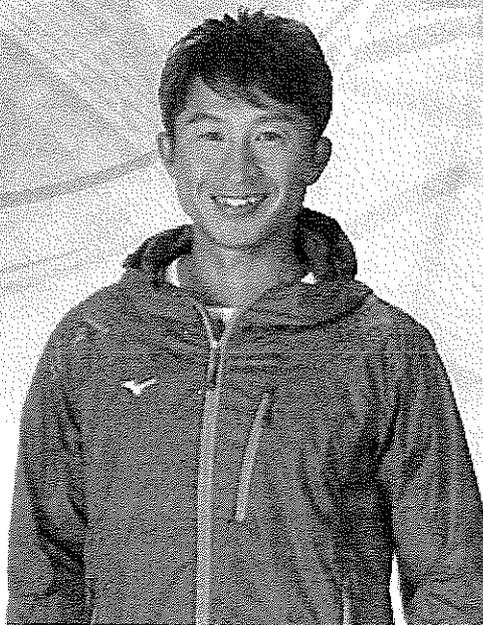
- (1) 次期開催県挨拶 中山 清志 千葉県社会教育委員連絡協議会会長
- (2) 閉会の言葉 成田 弘 大会実行副委員長

「世界一をめざして」

— 五輪選手育成の現場から —

～荻原 健司氏より～

選手指導は子育てと同じであり、青少年健全育成にも通じるものと考えています。世界に通じる選手育成においては、「人を育てること」を重視しながら日々の指導に当たっており、単に技術や体力だけでなく選手の「心のスイッチ」を入れられるかどうか、競技者そして指導者としての様々な経験をもとにお話しします。



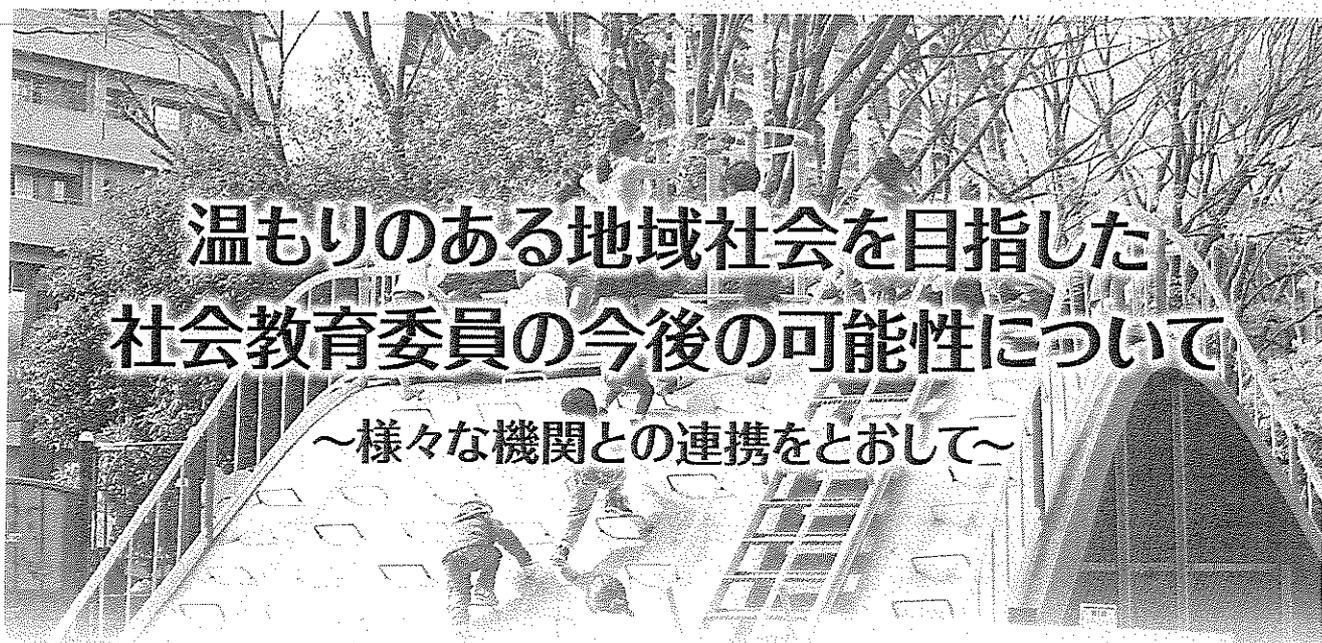
講 師

荻原 健司氏

(北野建設スキー部ゼネラルマネージャー)

1969年群馬県草津町出身。アルペールビルオリンピック、リレハンメルオリンピックで2大会連続金メダルに輝く。ワールドカップでは通算19勝、個人総合3連覇。世界選手権でも金メダルを獲得し「キング・オブ・スキー」と称賛される。引退後は、参議院議員としてスポーツ振興、教育問題、環境問題等を中心に取り組む。現在は、北野建設スキー部ゼネラルマネージャーとして後進の指導に当たるとともに講演活動など幅広く活躍中。

パネルディスカッション



温もりのある地域社会を目指した 社会教育委員の今後の可能性について

～様々な機関との連携をとおして～

パネリスト



志村 隆雄氏
(高崎市社会教育委員会 議長)

高崎市社会教育委員として5年目を迎える。現在は議長として社会教育委員会をまとめる一方、市の各種委員、大学での非常勤講師、地域の役員等幅広く活躍中。

社会教育委員と行政との協働による事業実施や関係機関・団体との情報共有及び学生、子育て世代等の若年層の地域参加などについて考えていきたい。

パネリスト



藤田 和良氏
(邑楽町教育委員会生涯学習課 生涯学習係長・社会教育主事)

生涯学習係長、社会教育主事として、主に青少年健全育成事業や文化財事業の保護・活用業務に当たるとともに、社会教育委員や文化芸術振興業務にも関わっている。

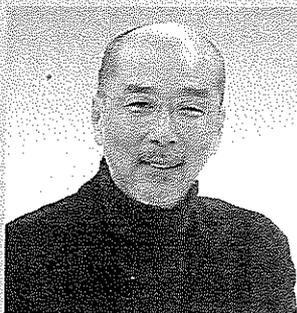
ライフスタイルの多様化に対応しながら個人や地域のニーズに即した事業を通じて地域コミュニティを活性化させることなどを考えていきたい。



木暮 裕氏
(伊勢崎市立殖蓮第二小学校 校長)

校長として、児童がこれからの時代を生き抜くために必要な生きる力を身に付けられるよう、一人一人の実態を踏まえて教育を行っている。

日頃から家庭や地域に開かれた学校経営を行っており、社会教育と連携しながら学校課題の解決に向けて、様々なアイデアを考えていきたい。



太田 和雄氏
(特定非営利活動法人キャリア倶楽部 理事長)

地域で若者を支える地域諸団体での講演活動、若者の職業的自立支援サービス、高校でのキャリア教育や大学生へのキャリアコンサルティングなど若者の進路選択支援を幅広く行っている。

地域課題を住民の力で解決するために、住民の積極的な参加とそれらを醸成する「地域の輪づくり」について考えていきたい。



櫻井 常矢氏
(高崎経済大学地域政策学部 教授)

専門は社会教育学、生涯学習論、地域づくり教育。地域づくりのプロセスに住民ワークショップやNPO、公民館等の事業活動を介在させた社会実験を全国各地で展開。人材育成を軸とした地域再生や市民協働システムの構築に実践的にアプローチし、福島県浪江町の震災復興をはじめ自治体の政策アドバイザーとしても活躍。「人口減少時代の地域づくりこそ丁寧なひとつづくりが必要」との視点からこれからの社会教育を考えていきたい。

テーマ『生涯学習による人づくり、地域づくりのための仕組みづくり』

1 はじめに

(1) 浜松市の概況

本市は、静岡県西部、首都圏と関西圏のほぼ中間に位置し、北は赤石山系、東は天竜川、南は遠州灘、西は浜名湖と四方を異なる環境に囲まれている。平成17年7月の12市町村の合併を経て、平成19年4月に政令指定都市へと移行した。人口は808,824人、世帯数は326,534世帯（平成27年7月現在）。面積は1,558.04平方キロメートルで、都市部から山間地域まで大変広域な地域となっている。豊かな自然と温暖な気候に恵まれる中、自動車やオートバイ、楽器、光技術といったものづくりのまちでもある。

第1次浜松市総合計画（平成19年度～）から都市の将来像に「市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』」を掲げ、平成25年4月、公民館が協働センターとなり、地域づくりの拠点としての役割を担っている。

(2) 社会教育委員会の状況

ア 委員の構成：大学、校長会、市PTA連絡協議会からの3人と各区選出の7人の計10人
（学識経験者1人、学校関係者2人、社会教育関係者5人、家庭教育関係者2人）

イ 委員の任期：2年 ウ 会議の回数：年4回

(3) 浜松市生涯学習推進大綱の基本方針等

ア めざす都市像：「楽しみ」や「生きがい」が見つかるまち・浜松

イ 基本方向1：いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくり

基本方向2：学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり

2 活動内容

本市社会教育委員会においては、「浜松市生涯学習推進大綱」の2つの基本方向に基づき、協議テーマを選定している。協議テーマに沿って、意見を取りまとめる中で「学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり」の重点取組として、人材の育成と学習成果を発揮する機会の充実のための事業を事業化し、生涯学習による人づくり、地域づくりを進めている。

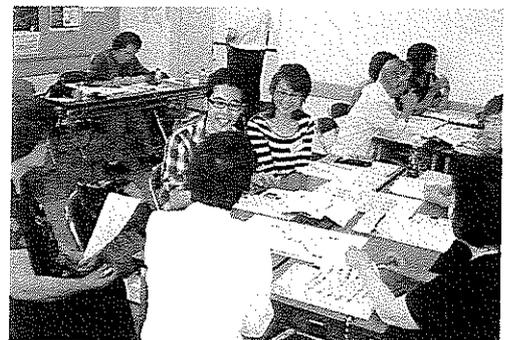
(1) 人材の育成「生きがいリーダー養成講座」「生まれ！市民力～地域づくり人材養成講座」

ア ねらい

市民が主役となった人づくり・地域づくりを進めていくため、地域の生涯学習施設と連携・協働して、生涯学習を推進する地域リーダーを養成する。

イ 具体的内容

市域全体での人材育成の取組として、平成23～25年度の3年間、地域に対して生涯学習の働きかけをしたり、生涯学習施設と協働して事業を進めたりすることのできる地域リーダーを養成する「生きがいリーダー養成講座」を実施した。年間2期（前期・後期）、開催区を変えながら市内全7区において同じプログラム（全6回、1回3時間）で開催。内容は、市の生涯学習の方向性、地域に信頼されるリーダー像、コーディネーター概論、カウンセリング術、講座の企画・立案実習などとし、講義やグループワークを通して、地域の指導者的資質とコーディネーター的資質を高めることを目指した。受講者は、一般公募に加え、生涯学習施設からの推薦（1施設2



「生きがいリーダー養成講座」の様子

名程度)により、生涯学習施設を活動の場とした地域の人材を募集した。講座の運営は「静岡県生涯学習インストラクターの会西部地区会」に委託し、市と企画・運営についての意見交換を重ねながら協働で進めてきた。受講後、修了者が地域の生涯学習施設と連携して、地域ニーズを踏まえた講座の企画・運営や講師の発掘、地域の方の学習成果を発揮する仕方の支援等の活動を行っている。

平成26・27年度は、前述の養成講座を引き継ぐ形で、特に地域づくり及び地域課題の解決に関するテーマに特化した「生まれ！市民力～地域づくり人材養成講座」を実施し、生涯学習による地域づくりを進めることのできる地域リーダーの養成を図っている。

ウ 実績(修了者数)

平成23年度：41人、平成24年度：37人、平成25年度：36人 計114人

平成26年度：30人

(2) 市民主体の講座「学習成果活用支援事業」

ア ねらい

市民が主体となって地域課題を解決したり、学びの成果を社会に還元したりする学習活動を展開することで、地域の学習活動の新たな指導者の育成や、学習成果を自立的・持続的に生かす仕組みの構築を図る。

イ 具体的内容

生涯学習施設を活動の拠点とし、地域住民自らが学習して得た知識・教養等を活用して講座等を企画・運営する事業である。施設職員は、講座の企画方法や運営の支援・指導に当たるほか、事業終了後もその施設の講座に携わることを働きかけたり、相談に応じたりしながら実施者の支援をし、地域の学習活動への参加を促す。平成21、22年度は、モデル事業として各区1～3施設を選出して実施。平成23年度からは、対象施設を全市域(7区49施設)に拡大して事業展開を図っている。「実施者と施設の関わりがさらに深まった」「地域課題の解決に取り組むことができた」「次年度、施設事業の講座として継続実施する」等の成果が表れてきている。

【事業による講座例】

- ・地域活動団体による「子どものためのオーケストラコンサート」
(1回講座)…歌や楽器演奏、指揮者体験等を通して、音楽の楽しさや素晴らしさを伝え、子どもの健全育成と親子のコミュニケーションを図るきっかけづくりを行った。



「子どものためのオーケストラコンサート」の様子

ウ 実績

平成21年度：14施設、25の実施団体による28事業実施

平成22年度：14施設、21の実施団体による21事業実施

平成23年度：47施設、86の実施者(個人・団体)による94事業実施

平成24年度：45施設、114の実施者(個人・団体)による121事業実施

平成25年度：47施設、102の実施者(個人・団体)による112事業実施

平成26年度：48施設、105の実施者(個人・団体)による115事業実施

(3) 大学との連携「市と大学との連携事業～大学生による講座」

ア ねらい

生涯学習施設で行われている講座の開催に、大学生が持つ学習成果を活用し、学生自らが講師となって市民と学生が互いに自己の学びを深めるとともに、市と大学が連携・協力して生涯学習の取組を一層推進する。

イ 具体的内容

市と大学が連携・協力し、生涯学習施設で大学生が講座を行う事業である。講座は、大学の学修課

平成 26 年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する施策事業の実績評価について

◎ 趣 旨

平成 25 年 6 月に策定した「宇都宮市読書活動推進計画」の計上事業における平成 26 年度の実績評価について報告するもの

1 計画の位置づけ

「宇都宮市地域教育推進計画」に基づき人づくりを進める中で、特に本市の読書推進に焦点を当てた個別計画である。

参考資料 1 宇都宮市読書活動推進計画の概要

2 計画の進行管理について

計画全体の実績評価については、基本指標により進行管理を実施するとともに、その結果を、「社会教育委員の会議」及び「参考人※」へ報告し、意見を聴取する。

※参考人:平成 24 年度第 1 回社会教育委員の会議において、「図書館事業は専門性が高く、利用者も多様であり、専門家や身近な利用者の意見聴取が必要である」との意見を受けて設置。宇都宮市地域まちづくり推進協議会、栃木県高等学校教育研究会図書館部会等から推薦を頂いた有識者等(合計 10 人,年 2 回の意見聴取を実施)

参考資料 2 平成 27 年度第 1 回 図書館事業に係る意見交換会について

3 平成26年度の実績評価について

(1) 基本目標の進捗について

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度 (達成率)	H29年度 目標値
基本目標1 多様な図書館サービスを利用するなど、あらゆる市民が読書活動に親しんでいます。					
基本指標① 図書館資料の貸出冊数	4,566,016 点	4,636,568 点	4,447,624 点	4,314,443 点 (86.3%)	5,000,000 点
基本指標② 図書館の登録率	33.1%	33.5%	32.6%	32.5% (93.9%)	34.6%

「宇都宮市立図書館利用統計」より

基本目標2 図書館、地域、学校連携のもと、宮っ子が読書活動や学習活動に励んでいます。					
基本指標③ 高校生の1か月間の読書量	1.4 冊	1.28 冊	1.57 冊	1.59 冊 (79.5%)	2 冊
基本指標④ 子どもの読書に関わる ボランティアの活動人数	1,236 人	959 人	1,009 人	1,081 人 (67.6%)	1,600 人

「栃木県教育委員会調査」, 「宇都宮市学校教育課調査」より

基本目標3 個人や団体、地域それぞれが課題を解決するために、図書館サービスを活用しています。					
基本指標⑤ レファレンスに対する 利用者満足度	52.6%	53.0%	—	56.2% (89.8%)	62.6%

「宇都宮市立図書館利用者アンケート」より

基本目標4 市民が高度情報化に対応した資料や設備や、ニーズに応じデジタル情報を活用しています。					
基本指標⑥ 図書館のインターネット 端末の利用件数	21,305 件	18,515 件	16,230 件	21,168 件 (70.6%)	30,000 件

「宇都宮市立図書館利用統計」より

基本目標5 図書館の適切な環境整備と運営により、市民が快適に図書館を利用しています。					
基本指標⑦ 図書館の読書環境に関する 利用者満足度	82.0%	82.9%	77.9%	80.4% (94.6%)	85.0%

「宇都宮市立図書館利用者アンケート」より

(2) 基本目標の現状分析と今後の取り組み方針

①基本指標の現状分析

ア 基本目標 1

基本指標①「図書館資料の貸出冊数」

⇒南図書館が平成23年7月に開館したことにより平成24年度は増加しているが、その後、全国的な貸出数の減少の流れと同様に減少傾向にあるため、今後は、新刊資料の購入に必要な資料費の確保に努めるとともに、効率的な資料の購入方法の検討や全市的なイベントへの参加による図書館のPRなどにより、貸出数の増加に努めていく必要がある。

基本指標②「図書館の登録率」

⇒中央、東、南図書館で実施している5年間未利用の方の登録削除を、上河内・河内図書館で初めて削除したため減少。その後は、毎年の削除者数と新規登録者数が同程度となっていることから、今後、貸出数の増加と一体的な取組により図書館への登録促進を努めていく必要がある。

イ 基本目標 2

基本指標③「高校生の1か月の読書量」

⇒平成24年度に一時的に減少したものの、高校との連携講座や高校生向けの情報誌「MIYATEEN」の作成など、高校生への読書推進を図った結果、平成25年度以降は読書量が増加しているため、継続的な事業実施により目標の達成を目指していく必要がある。

基本指標④「子どもの読書に関わるボランティアの活動人数」

⇒平成24年度に減少したものの、ボランティア養成講座等の実施や既存のボランティアへの研修会などを行ったことにより少しずつ増加しているため、今後もボランティアの養成と活動継続を支援していく必要がある。

ウ 基本目標 3

基本指標⑤「レファレンスに対する利用者満足度」

⇒司書の専門性を生かしたサービスの提供やレファレンスサービスのPRと強化を図った結果、少しずつであるが増加してきているため、今後より一層、司書の専門性を活かした取組を実施していく必要がある。

エ 基本目標 4

基本目標⑥「図書館のインターネット端末の利用件数」

⇒利用者が減少傾向にあったが、平成26年度に南図書館に無線LANを導入したことにより、利用件数が増加に転じているため、今後は既存館についても、無線LANの導入に向けて検討していく。

オ 基本目標 5

基本指標⑦「図書館の読書環境に関する利用者満足度」

⇒中央図書館の施設の老朽化により、利用者満足度が他の4館に比べ低いことが影響し、満足度の向上が進んでいないため、今後、中央図書館の施設環境の向上に取り組んでいく必要がある。

②今後の取組方針

- 社会情勢の激しい変化に伴い市民ニーズが多様化し、全国的に貸出数が減少している中、子どもを含むあらゆる市民が読書に親しみ学習に励むためには、時代の流れやニーズに合わせた取組が必要であることから、新刊資料や話題の資料を効率的に購入するのはもとより、図書館を支える人たちとの連携やICT環境の充実などに取り組むとともに、図書館と図書館が実施している様々な取組のPRを進めていく。
- 社会が様々な課題を抱えている現代において、個人や団体、地域がその課題を解決していくためには、図書館が資料の貸出だけにとどまらず、司書の専門性を活かしたレファレンスサービスの充実とPRの強化を図り、図書館が地域の課題解決のための身近な情報拠点となるよう取り組んでいく。
- 幅広い世代にわたる多くの利用者が快適に図書館を利用できるようにするため、施設の老朽化に適切な対応と維持管理を行うとともに、利用者ニーズを捉えた効果的、効率的な管理運営に取り組むことで、誰もが快適に利用できる図書館を目指していく。

[参考] 施策の取組状況について

基本目標を支える基本施策及び施策の進捗状況は次のとおり

- ・ **別紙1**平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する「基本施策」及び「施策」の取組状況
- ・ **別紙2**平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する事業実績について

平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する「基本施策」及び「施策」の取組状況

(1) 基本施策1 市民の読書活動の推進

【施策1】「さまざまな市民の読書活動の推進」 8事業（うち重点事業2）

<重点事業>

事業番号1 読書活動ガイドブックの作成・配布

（指標名：読書活動ガイドブックの配布数）

平成23年度		平成26年度	平成29年度(目標値)
—		8,400点	10,000点

事業番号6 センター図書室等の地域性や利用者層に合ったサービスの提供

（指標名：事業において図書館資料を利用した関係機関の箇所数）

平成23年度		平成26年度	平成29年度(目標値)
—		24箇所	32箇所

「読書活動ガイドブックの作製・配布」をはじめ、各事業における着実な取組により、市民が読書活動に親しむための施策の推進が図られている。

【施策2】「子どもの読書活動の推進」 15事業（うち重点事業3）

<重点事業>

事業番号14 学校図書館・読書活動の充実

（指標名：学校図書館司書の1か月あたりの授業参加回数）

平成23年度		平成26年度	平成29年度(目標値)
7.0回		8.0回	10.0回

事業番号18 高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画

（指標名：高校生ボランティアによる講座の参加者数）

平成23年度		平成26年度	平成29年度(目標値)
23人		71人	60人

事業番号23 読み聞かせボランティア育成事業の強化

（指標名：読み聞かせボランティアの人数）

平成23年度		平成26年度	平成29年度(目標値)
1,236人		1,081人	1,600人

「学校図書館・読書活動の充実」や「高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画」などの事業については、着実な取組の成果が出ている。

「読み聞かせボランティア育成事業の強化」については、宇都宮子どもの本連絡会と連携を図るなど、ボランティア活動を始める機会の更なる充実に向けて取り組んでいる。

【施策3】「レファレンス・課題解決型サービスの強化」 5事業

<重点事業>

事業番号24～28

(指標名：図書館においてレファレンスサービスを使用した利用者の割合)

平成23年度		平成26年度	平成29年度(目標値)
—		59%	80%

レファレンスサービスを利用しやすくなるよう、情報・サービスの充実など各事業の推進に取り組んでいるものの、「レファレンスサービスを使用した利用者の割合」は目標値にはまだまだ届かない状況にある。

【施策4】「ICTの推進や電子情報の提供」 2事業

<重点事業>

事業番号30 図書館におけるICT環境の整備

(指標名：図書館のインターネット端末の利用件数)

平成24年度		平成26年度	平成29年度(目標値)
21,305人		21,168人	30,000人

南図書館では、持ち込みパソコンで無線または有線によりインターネットに接続するサービスを実施しており、利用件数も前年度比1.5倍と大幅に増加している中、南図書館以外の図書館についても無線LAN環境の整備を求める利用者が増加していることから、引き続き事業の推進していくべき状況にある。

【基本施策1 平成26年度の取組状況】

「さまざまな市民への読書活動の推進」や「子どもの読書活動の推進」において、中央生涯学習センター内に「ティーンズコーナー」を設置するなど、市民それぞれのライフステージに応じた読書環境の充実が図られている。

一方で、「読み聞かせボランティアの育成」や「レファレンス・課題解決型サービスの強化」、「ICTの推進や電子情報の提供」においては、さらなる充実に向けて事業を推進する必要がある。

(2) 基本施策2 適切な図書館運営や環境の整備

【施策5】「効果的・効率的な管理運営体制の充実」 3事業（うち重点事業1）

<重点事業>

事業番号31 管理運営体制の充実

（指標名：図書館の読書環境に関する利用者満足度）

平成23年度		平成26年度	平成29年度(目標値)
82.0%		80.4%	85.0%

読書環境に関する利用者満足度が伸び悩んでいる中、中央図書館はトイレに関する意見が多数寄せられているなど、その一番の要因となっているのが中央図書館の施設の老朽化によるものと考えられる。

【施策6】「施設の再整備の計画的な推進」 1事業（重点事業0）

【基本施策2 平成26年度の取組状況】

引き続き、施設の再寿命化への対応や管理運営体制の充実など、市民にとってより使いやすい図書館になることを目指し、読書環境の整備に向けて事業を推進する必要がある。

基本施策1 市民の読書活動の推進

施策1 さまざまな市民の読書活動の推進

事業番号	事業名 事業概要	方向性	担当課	平成26年度の実績
1	読書活動ガイドブックの作成・配布 市民の読書活動の啓発と支援をするため、図書館登録率の向上と図書館サービスの利用促進を図れるよう、本市図書館のさまざまなサービスを紹介する「Hon-miya」を作成・配布	新規 【重点】	全図書館	・参考人等からの意見も踏まえ12月に作成し、公共施設だけでなく、市内194箇所配布を行っている。
2	図書館まつりの開催 市民の読書活動のきっかけづくりのため、関係団体・機関や地域事業と連携を図りながら、図書館施設を有効活用し、読書推進に関する事業を展開します。	継続	南図書館 河内図書館	4月27日 南図書館子どもフェスティバルの開催 子どもの日に併せたイベント。内容は、ピアニスト阿久澤政行さんによる「赤ちゃんから楽しめるクラシックコンサート」、司書の仕事体験、種まき体験、おはなし会スペシャルなど (参加者数 約4,300名) 11月16日 南としょかん祭の開催 地元企業の協賛による、地域と連携した年に1度の大型イベント 内容は、倉沢大樹コンサート、歴史講座、おはなし会スペシャル、本のリサイクル市、宇都宮工業高校「ロボットとあそぼう」など (参加者数 約6,000名) 11月30日～12月7日 かわち図書館まつりの開催 人形劇の公演、寄せ植え教室・絵手紙教室、凧の手作り教室、マンドリン演奏会、スタンプラリー、缶バッジの配布など (参加者数 約1,200人)
3	読書活動の啓発事業の実施 読書活動の啓発を図るため、「フェスタ・my・うつのみや」「子どもフェスタ」など全市的なイベントに加え、民間事業者との連携を図り、商業施設などで読書活動推進出前講座を行います。また、「子ども読書の日(4月23日)」などに行われる関連事業を集約し、市民へ情報発信します。	新規	全図書館	4月9日～13日 五代若松原地域コミュニティセンターウェルカムイベントに参画(参加者数延べ70名) 「出張ミニとしょかん」で児童図書の展示とおはなし会、南部地域資料の展示、立松和平関連展示、4月12日講演会「立松和平青春の軌跡」を実施(南図書館) 4月19日～20日 「ファインフィールドフェスティバル」に参画(参加者数人形劇198名、工作教室91名)(中央図書館) 5月～3月 「サイエンスらいおんカフェ」(とちぎサイエンスらいおんプロジェクト主催)での出張貸出(東図書館)(計8回) 6月20日～8月8日 「レオ・レオニ原画展」宇都宮美術館との連携事業として企画展示。7月6日DVD「レオ・レオニ5つの作品集」上映(南図書館) 6月28日・10月11日 歴史講座「蒲生君平の業績と明治維新」第2回「山稜志をめぐる物語」(参加者数50名)第3回「蒲生君平と明治維新」(参加者数36名)(南図書館) 7月6日～8月24日 宇都宮美術館の企画展「レオ・レオニ 絵本のしごと」と連携し図書館所蔵のレオ・レオニ関連リストを作成し美術館において配布(中央図書館) 10月11日 「宮っこフェスタ」への出展(参加者数 おはなし会29名、かんたん工作141名)(中央・東・南図書館) 10月27日 「子どものもりフェスティバル」(冒険活動センター)に「森のおはなし会」で参加(参加者数65名)(南図書館) 11月8日 下野民話のつどい(参加者数32名)(東図書館) 11月30日 世界の絵本を楽しもう(参加者数134名)(東図書館)

平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する事業実績について

				1月 8日～3月29日 立松和平写真展。2月8日立松和平写真展開催記念講演会「立松和平が遺したもの」(参加者数75名)(南図書館) 2月15日 「人づくりフォーラム」への参加(南図書館) おはなし会スペシャル(参加者数33名) おたのしみぶっく(福袋)(貸出数62)
4	カフェトーク(合同読書会)の開催	新規	中央・南図書館	6月 5日 合同読書会「ドナウの叫び」(参加者数23名)(中央・南図書館)(宇都宮市読書会交流会主催と連携)
	市民の読書活動の充実のため、既存の読書会などと連携を図りながら、読書の楽しみを共有する機会を設けます。			7月21日 江戸を語る「初代横綱明石志賀之助と浄瑠璃坂の仇討」(参加者数27名)(南図書館) 8月 3日 「ブリッツェンとカフェトーク」(参加者数19名)(河内図書館) 11月30日 「親子で木の実工作を楽しもう」(参加者数24名)(中央図書館) 12月17日 「詩と版画が響きあうとき」(参加者数10名)(中央図書館)
5	ビブリオバトル(知的書評合戦)の実施	継続	南図書館	9月 7日 第1回ビブリオバトルの実施(発表者8人,聴衆35人)
	人と本をつなぐため、おすすめの本の紹介を、市民を前に「もっとも手にとってみたい、読んで見たい本」を市民が選び、上位入賞者を決定します。			12月19日 出張ビブリオバトル(宇都宮工業高校との連携)の実施(発表者4人,聴衆32人) 2月 8日 第2回ビブリオバトルの実施(発表者8人,聴衆45人)
6	センター図書室等の地域性や利用者層に合ったサービスの提供	継続【重点】	中央・東・南図書館, 地区市民センター等	・一部の生涯学習センター図書室において、センターで開催する事業に関連した資料を用意することにより、講座の充実及び図書館資料の利用促進を図った。
	生涯学習センター図書室等の利用促進を図るため、地域性や利用者層を考慮するなどして、図書資料の質の充実を図ります。また、センターで開催する事業の内容に合った図書の展示や情報の提供など、センター事業と連携した業務を工夫し、相乗効果を図ります。			・1月7日～中央生涯学習センター図書室内にティーンズコーナーを設置(約3,000冊)
7	さまざまな利用者への情報提供の充実	拡充	全図書館	・あかちゃんタイムを平成26年5月から全館で実施(全82回実施)
	図書館において、さまざまな市民が必要とする資料・情報を入手できるように、関係機関との連携や利用案内の充実など、読書環境の整備を推進します。			・6月25日 心と身体をリラックス(参加者数38名)(東図書館) ・7月30日 親子おやつ教室(参加者数35組)(東図書館) ・9月4日 成長期のスポーツ栄養学(参加者数39名)(東図書館) ・9月11日 スポーツを楽しめる身体づくり(参加者数30名)(東図書館) ・10月～11月 発達障がいに関連講座・企画展の開催(参加者数289名) ・12月7日(第1日曜日)は障がい者週間に合わせ、手話つきおはなし会(小さい子向け・大きい子向け)を実施(参加者数66名)(中央・東・南図書館) ・障がい者サービスとして、利用者ニーズにあわせた資料提供に努めるとともに、音訳資料の媒体をテープからダイジーへ移行開始(中央図書館) ・毎月第2日曜日に小さい子向け手話つきおはなし会を実施(参加者数267名)(南図書館)
8	電子情報等への対応	継続	全図書館	・12月 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを5館で開始
	市民の情報収集の支援と図書館の資料保存の機能強化を図るため、図書館情報システムの基幹ソフトウェアの更新に合わせ、電子情報及びデジタルアーカイブの導入検討を行います。			・デジタルアーカイブ事業の先進地視察や調査を実施

【重点事業の目標値】

事業番号1 読書活動ガイドブックの作成・配布

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
読書活動ガイドブックの配布数	目標値	—	—	—	10,000点			10,000点
	実績	—	—	—	8,400点			

※「宇都宮市読書活動推進計画」より

事業番号6 センター図書室等の地域性や利用者層に合ったサービスの提供

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業において図書館資料を利用した関係機関の箇所数	目標値	—	—	8箇所	14箇所	20箇所	26箇所	32箇所
	実績	—	—	6箇所	24箇所			

※宇都宮市立図書館調査より

平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する事業実績について

施策2 子どもの読書活動の推進

事業番号	事業名	方向性	担当課	平成26年度の実績
	事業概要			
9	妖精ミュージアムにおける絵本の読み聞かせ 子どもの読書推進とミュージアムの利用促進を図るため、妖精ミュージアムにおいて、来館者に対し定期的に読み聞かせを実施します。	継続	文化課	・毎月第4土曜日に絵本の読み聞かせを実施 月1回 計12回実施
10	「家読(うちどく)」の推進 家族で本を読んでコミュニケーションし、「家族の絆づくり」することを目的として「家読」の啓発を行います。	継続	学校教育課 全図書館	【市の取組】学校図書館司書研修による「家読」の推進 ⇒実施 【学校の取組】「学校図書館だより」の発行、配付 ⇒全校で実施
11	親学情報誌の発行 家庭教育に対する意識の高揚や親力の向上を図るため、より多くの市民を対象とした情報誌の発行により、子育てに必要な知識や子どもとの関わり方などを伝えるとともに、読書についての情報や本の紹介などを掲載します。	継続	生涯学習課	・中学校3年生までの子どもをもつ保護者と児童・生徒を対象に年2回(7月・2月)、1号あたり67,000部発行し、保育園や幼稚園、学校等を通して配付 ・7月 第7号「子どもと親の『自己肯定感』」 2月 第8号「PTA活動者と考える LOVE『家庭教育』!」をテーマに発行
再	読書活動の啓発事業の実施(再掲)	新規	全図書館	
12	子どものためのレファレンスや調べ学習への支援 図書館の児童カウンターにおいて、子どもへの相談対応や資料紹介、調べ方の案内などの支援を行うために、日常的な問合せや学校等の図書館の団体利用に対応し、子ども向けパスファインダーの作成配布等を行います。	拡充	全図書館	・子ども向けパスファインダー2点作成 「バリアフリーについて調べる」、「天気・気象について調べる」
13	「うつのみやこども賞」事業の実施 受賞作品を通して、子どもの読書活動を啓発するため、日本の作家が創作した新作児童文学作品を対象に、市内の小学5、6年生公募委員が、その年一番友だちに薦めたい本を選び賞を授与する事業を行います。(子どもによる創作児童文学の評価という点で、日本で唯一の事業です。)	継続	中央図書館	4月～ 第31回(平成26年度)うつのみやこども賞選定員委員募集 4月27日 うつのみやこども賞選定委員説明会 5月18日 第30回うつのみやこども賞表彰式及び受賞記念講演会 受賞作品「狛犬の佐助 迷子の巻」伊藤遊氏(参加者数81名) 6月1日 第31回うつのみやこども賞第1回選定会議 ※毎月第1日曜日に年間10回の選定会議を開催し、毎月「うつのみやこども賞だより」を発行。 3月1日 第31回うつのみやこども賞決定 受賞作品「ロード」山口理・著 文研出版
14	学校図書館・読書活動の充実 児童生徒の主体的、意欲的な読書活動を充実するため、「宇都宮市学校教育スタンダード」に基づき、全校一斉読書や読み聞かせ、ブックトーク等を実施します。 また、学校図書館司書業務嘱託員及び地域学校園司書業務嘱託員による図書を利用した授業支援を実施します。	継続 【重点】	学校教育課	【市の取組】 ・学校図書館司書研修による読書活動の推進や司書の授業参加の促進 ⇒実施 【学校の取組】 ・学校図書館教育に関する校内指導体制の整備 ⇒全校で実施 ・学校図書館司書の授業参加の推進 ⇒全校で実施
15	学校図書館の整備・充実 児童生徒が自ら学ぶ学習・情報センターとしての機能と、豊かな感性や情操をはぐくむ読書センターとしての機能を発揮する学校図書館を目指し、常に最新の情報や本を利用できるよう、さらなる蔵書の充実を図るとともに、十分な機能が果たせるよう、利用しやすい学校図書館の整備充実に取り組みます。	継続	学校教育課	【市の取組】 ・学校図書館調査は毎月実施、読書アンケートは11月に実施 【学校の取組】 ・市立南図書館との連携 ⇒巡回図書の活用は全校で実施、団体・希望図書貸出の活用は貸出希望校で実施 ・地域学校園内の学校図書館の連携 ⇒希望図書の相互貸借は各学校園内で実施、図書館の整備は、園内の司書が分類表示や環境整備等を相互に協力して実施
16	学校図書館司書業務嘱託員等の育成 学校の教育活動全体を通じ、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図るため、校内協力体制を確立し、司書教諭及び学校図書館司書業務嘱託員、地域学校園司書業務嘱託員に対して、学校図書館の運営や活用を図るための研修会等を開催し、能力向上を図ります。	継続	学校教育課	【市の取組】 ・学校図書館司書研修の実施 ⇒年8回、市教育センターや市立図書館との共催を含む 【学校の取組】 ・地域学校園内研修の実施 ⇒年2回、地域学校園ごとに実施

平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する事業実績について

17	<p>図書館と学校図書館の連携の充実</p> <p>小中学生の読書活動、学習活動を支援するため、学校図書館司書業務嘱託員等と連携し、学校と南図書館とを結ぶ集配車や学校支援システム等のネットワークを活用して、学校巡回図書や学校希望図書の貸出、ブックリストなどの情報提供、レファレンス等を行います。 また、教師の教育活動の充実を図るため、教職員向けに教育関連資料を充実させ提供します。</p>	拡充	南図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・南図書館の学校支援室において、全市の小中学校及び適応支援教室を対象に、支援事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> 学校巡回図書 4月22日～3月13日 (40冊の本の入ったブックパックを、毎週全小中学校に巡回させる事業) 学校希望図書 4月～2月 (学校が授業や読書活動で使う図書を、希望のテーマに応じてそろえて貸し出す事業) 平成26年度利用数 小学校 70校 1,281件 28,600冊 中学校 23校 330件, 4,848冊 教職員への支援として新規ブックパック「選書パック」「ブックトーク・読み聞かせパック」「読書指導・学校図書館づくり」の貸出開始 貸出件数 13件185冊 (新規)教職員への支援として、授業で使うCDの貸出開始 購入14枚, 27年2月貸出開始 ・教職員・学校司書を対象に、学校での実践に役立つ講座を開催 <ul style="list-style-type: none"> 4月3日 学校図書館司書業務嘱託員新規採用者研修会 (参加者数5名) 4月10日 学校図書館司書業務嘱託員全体研修会 (参加者数88名) 10月9日 小・中学校図書館関係者研修会 (参加者数95名)
18	<p>高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画</p> <p>高校生の図書館に関する認知度を高めるとともに、同世代の読書活動を効果的に進めるため、高等学校と連携し、高校生ボランティアによる講座の開催等の事業を行います。</p>	拡充 【重点】	南図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・2月21日 宇都宮工業高等学校と連携し、高校生が講師の小中学生向けものづくり教室「ログハウス型貯金箱を作ろう!」を実施。(参加者数 小学生18人)(南図書館) (参考)平成23年度 LEDのクリスマスイルミネーションづくり 平成24年度 ログハウス貯金箱づくり 平成25年度 メロディー時計づくり
19	<p>高校生の本や読書に関する情報交換・発信事業の実施</p> <p>高校生の読書活動啓発のため、市全域から高校生ボランティアを募り、高校生が高校生に薦める推薦図書等を掲載した情報誌「MIYATEEN」の作成・配布を行います。</p>	継続	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・6月～ MIYATEEN編集委員募集 ・7月～ MIYATEEN編集会議開催 (全4回) ・2月 MIYATEEN発行 ・1月7日～ 中央生涯学習センター図書室内にティーンズコーナーを設置 (約3,000冊)(再掲) ・3月14日 ティーンズコーナーオープン記念講座 (講師:神永学氏)
20	<p>「高校生のための読書推進講座」の実施</p> <p>高校生の読書活動のきっかけづくりと図書館の利用促進を図るため、「MIYATEEN」の作成に携わる高校生による、事業の企画・立案を受け、講座の運営を図書館と高校生で行います。</p>	新規	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・12月～ MIYATEEN編集会議内で講師を決定、講師交渉 ・3月29日 講座開催 (講師:似鳥鶏氏)
21	<p>子どもや中・高校生(ヤングアダルト)向け図書館ホームページの充実</p> <p>子どもの読書活動を支援するため、「こどものページ」、「ヤングアダルトのページ」の内容の充実や更新を行うとともに、中・高校生がホームページ作りに参加できる仕組みを作ります。また、関連ホームページへのリンクの充実を図ります。</p>	継続	全図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生向けの「調べ学習リンク集」「地域の情報リンク集」などを掲載 ・中高生にお薦めする本ホームページで紹介し、併せて特集コーナーを設置 ・高校生のための読書情報誌「MIYATEEN」の掲載 ・中央生涯学習センター図書室のティーンズコーナー紹介を掲載
22	<p>ましかどの学校・つげの木教室、とらいあんぐる(教育センター)への支援</p> <p>市内の全ての小中学生に対し読書や調べ学習を支援するため、適応支援教室等に対しても学校支援サービスを実施します。</p>	新規	南図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・市内3箇所の適応支援教室に対し、学校希望図書貸出を引き続き実施する。 平成26年度利用数 1教室 4件 121冊
23	<p>読み聞かせボランティア育成事業の強化</p> <p>読み聞かせボランティアの育成と能力向上を図るため、ボランティア養成講座、読み聞かせや子どもの本に関する講座や講演会を実施します。 また、ボランティア活動を始めるきっかけ作りのため、ボランティアに興味を持つ市民に対し、簡単な指導を行う場を設けます。</p>	継続 【重点】	全図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書館で、読み聞かせボランティアのための勉強会を引き続き開催 ・おはなしボランティアの意欲向上とボランティア同士の親睦を図るために「5館おはなしボランティア交流会」を開催 ・ボランティア向けの講座・研修会を読み聞かせボランティアへ積極的に周知

平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する事業実績について

【重点事業の目標値】

事業番号14 学校図書館・読書活動の充実

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学校図書館司書の1か月あたりの授業参加回数	目標値	—	—	8.5回	8.5回	9.0回	9.5回	10.0回
	実績	7.0回	6.7回	7.5回	8.0回			

※宇都宮市学校教育課調査より

事業番号18 高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
高校生ボランティアによる講座の参加者数	目標値	—	—	25人	30人	40人	50人	60人
	実績	23人	19人	64人	71人			

※宇都宮市立図書館調査より

事業番号23 読み聞かせボランティア育成事業の強化

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
読み聞かせボランティアの人数	目標値	—	—	1,310人	1,390人	1,460人	1,530人	1,600人
	実績	1,236人	959人	1,009人	1,081人			

※宇都宮市学校教育課及び宇都宮市立図書館より

施策3 レファレンス・課題解決型サービスの強化

事業番号	事業名	方向性	担当課	平成26年度の実績
	事業概要			
24	地域資料・情報の収集と提供の充実	継続【重点】	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> 横川地区と平石地区の地域データブックを作成。 国立国会図書館レファレンス協同データベースに地域関係のレファレンスを73件登録（予定）。 他課と連携し、講演に関連する地域資料の紹介やちらしを配布 <ul style="list-style-type: none"> 9月6日（土）公園管理課 宇都宮城歴史講演会「宇都宮城主 本多正純の人生」（参加者数176名） 11月30日（日）文化課 歴史講演会「宇都宮藩戸田家の歴史」（参加者数172名） 3月7日（土）公園管理課 宇都宮城歴史講演会「世界遺産 日光東照宮の謎と真実」（参加者数212名）
	効果的な地域資料・情報の収集と提供の充実を図るため、所蔵する地域資料の有効活用や望ましい地域資料・情報の収集と提供のあり方を整理するとともに、情報収集・発信にあたっての地域との連携を図りながら、地域課題解決支援のため、事例集等を作成します。			
25	科学・技術・ビジネス情報提供サービスの充実	拡充【重点】	東図書館	<ul style="list-style-type: none"> 講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> 7月12日 田原先生のわくわくサイエンス教室（参加者数54名） 7月24日 発明協会考案のキットを活用した工作教室①（参加者数45名） 7月26日 アーチ橋のはなし（参加者数12名） 8月2日 暮らしの中にある自然の放射線と調べてみよう（参加者数10名） 8月8日、22日 白楊高校科学部による科学体験教室（参加者数100名） 8月20日 手作りトランペットに挑戦してみよう（参加者数30名） 8月22日 宇都宮大学工学部との連携イベント（参加者数380名） 10月25日 チビもそ君をつくろう（参加者数22名） 1月7日 発明協会考案のキットを活用した工作教室②（参加者数32名）
	科学・技術・ビジネス情報提供のさらなる充実を図るため、うつつのみやブランドに関する資料（本市の特色である大谷石や餃子、宮染めなどの関係資料、文献、商品情報等）を収集・提供・保存し、情報発信していくとともに、連携事業を行います。			

平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する事業実績について

				<ul style="list-style-type: none"> 企画展示 <ul style="list-style-type: none"> 7月 8日～8月4日 「起業するなら宇都宮ベンチャーズ」企画展 連携先：産業振興課（宇都宮ベンチャーズ） 12月19日～2月18日 「ビジネスプランコンテスト」企画展とデモンストレーション 連携先：産業振興課（宇都宮ベンチャーズ） 2月19日～3月31日 「アグリビジネスをもっと元気に！知的財産をもっと身近に！」企画展 協力：市内4社 連携先：栃木県産業振興センター うつのみやブランド展示 <ul style="list-style-type: none"> 5月～ 6月 宮染め、大谷石 7月～ 8月 ビール・カクテル・宮祭り 9月～10月 餃子 11月～12月 黄ぶな 1月～ 2月 ミヤリー 3月～ レモン牛乳
26	<p>宇都宮プロスポーツアーカイブ事業の充実</p> <p>プロスポーツを核としたまちづくりなど地域活性化の視点から、関連資料（図書、雑誌、新聞記事、チームの会報など）を収集・提供・保管し、関連事業を行います。</p>	継続	東図書館	<ul style="list-style-type: none"> 図書・雑誌の収集、関連新聞記事のスクラップ（東図書館） 8月 3日 「ブリッツェンとカフェトーク」（参加者数19名）（河内図書館）
27	<p>宇都宮アグリビジネスブランド化への支援</p> <p>宇都宮の農産物等について市民にPRし理解を深めるとともに、アグリビジネスへの関心を深め、また、地域ブランドの発掘・創造支援のため、関係機関と協力し、関連資料の収集・提供や周知活動を行います。</p>	新規	東図書館 農業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 8月～12月 宇都宮市逆面地区との連携講座、企画展（参加者数81名） 8月 6日～26日 出張文化祭 連携先：栃木県立白楊高校 2月19日～3月31日 「アグリビジネスをもっと元気に！知的財産をもっと身近に！」企画展 協力：市内4社 連携先：栃木県産業振興センター（再掲） 2月28日 アグリビジネス支援講座「美味しい宇都宮のつくり方」 共催：うつのみやアグリネットワーク（参加者数54名）
28	<p>子育て・家庭生活支援情報の充実</p> <p>子育てや家庭生活に関する支援サービスを実施し、専門的なレファレンスに対応するため、利用ニーズに即した専門的な資料の収集を行うほか、子育て中の大人を対象とした子育て支援講座や、進路選択のための学校情報提供などを行います。</p>	継続 【重点】	南図書館	<ul style="list-style-type: none"> 11月29日家庭生活支援講座の実施 「子どもが育つ家族－父親の役割・母親の役割－」（講師 牧野カツコ 宇都宮共和大学子ども生活部学部長）（参加者数30名） 家庭生活連携講座の実施。併せて企画展示や関連図書のコーナーを設置。 <ul style="list-style-type: none"> 6月21日 テーマ 花育（講師 榎藤野グリーンセンター 藤野佳重） （参加者数子ども16名、大人13名） 8月 9日 テーマ 環境、エコ（講師 地球温暖化防止活動センター職員） （参加者数16名） 8月19日 テーマ 食育啓発事業（健康増進課との連携） （アンケート回答者数145名） 12月 5日 テーマ 高齢者福祉（雀宮／雀宮五代若松原地域包括支援センター職員、地域の高齢者施設職員）（参加者数15名） 企画展示 <ul style="list-style-type: none"> 6月12日～6月22日 テーマ 花育（南図書館除草緑化ボランティア活動紹介展示） 8月 5日～8月10日 テーマ エコ（「あなたの街で伝え隊」ストップ温暖化パネル展） 8月12日～8月21日 テーマ 食育（食育パネル展） 9月25日～10月3日 テーマ 消費生活（消費生活パネル展） 12月 2日～12月14日 テーマ 介護（認知症・支援に関するパネル展）

平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する事業実績について

【重点事業の目標値】

事業番号24～28

指標名		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
図書館においてレファレンスサービスを使用した利用者の割合	目標値	—	74%	76%	77%	79%	80%
	実績	73%	—	59%			

※「宇都宮市立図書館利用者アンケート」より

施策4 ICTの推進や電子情報の提供

事業番号	事業名	方向性	担当課	平成26年度の実績
	事業概要			
29	図書館情報システムの更新	拡充 【重点】	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> 1月6日～ 関連機器の更新，ホームページのリニューアル，動作確認などシステムの検証 新HHT（ハンディターミナル）の検証及び操作マニュアルの作成
	円滑な図書館サービスの提供を図るため，図書館情報システム関連機器の更新及び，業務システムの機能向上や利用者サービスの向上を図るため，次期図書館情報システムの構築を図ります。			
30	図書館におけるICT環境の整備	拡充 【重点】	全図書館	<ul style="list-style-type: none"> 図書館への無線インターネット環境等の整備及び運用について検討
	市民の情報収集を支援するため，図書館に無線インターネット環境等の整備を図るとともに，データベースの利用促進のための研修を行います。			

【重点事業の目標値】

事業番号30 図書館におけるICT環境の整備

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
図書館のインターネット端末の利用件数	目標値	—	—	19,000件	21,000件	24,000件	27,000件	30,000件
	実績	21,305件	18,515件	16,230件	21,168件			

※「宇都宮市立図書館利用統計」より

※平成26年度は無線LANの利用も含む

基本施策2 適切な図書館運営や環境の整備

施策5 効果的・効率的な管理運営体制の充実

事業番号	事業名	方向性	担当課	平成26年度の実績
	事業概要			
31	管理運営体制の充実	継続 【重点】	全図書館 行政改革課	<ul style="list-style-type: none"> 各図書館の役割や特色を踏まえた今後の管理運営のあり方について検討中
	効果的・効率的な管理運営を行う上での課題に対応するため，図書館のあり方の見直しや指定管理者制度の導入も含めて検討を行い，よりよい管理運営体制の構築を図ります。			
32	司書の専門性を発揮できる職員体制の整備	継続	全図書館 人事課	<ul style="list-style-type: none"> 国や県等が主催する外部研修に積極的に派遣するとともに，図書館における計画的な研修の実施
	市民や地域の課題解決や児童サービスなどの専門的業務に対応できるよう，必要な司書の確保に努めるとともに司書の能力向上を図る研修を積極的かつ計画的に実施します。			
33	自主財源確保に向けた取組の充実	拡充	全図書館	<ul style="list-style-type: none"> 従来の取組に加え，新たに作成した「読書推進ガイドブック」においても広告を募集（10件，75,600円）
	資料等の充実に向け自主財源の確保を図るため，図書館ホームページや図書館カレンダーへの広告事業やリサイクル市等の取組を継続して行います。			

平成26年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する事業実績について

【重点事業の目標値】

事業番号31 管理運営体制の充実

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
図書館の読書環境に関する利用者満足度	目標値	—	—	83.0%	83.5%	84.0%	84.5%	85.0%
	実績	82.0%	82.9%	77.9%	80.4%			

※「宇都宮市立図書館利用者アンケート」より

施策6 施設の再整備の計画的な推進

事業番号	事業名	方向性	担当課	平成26年度の実績
	事業概要			
34	図書館施設の改修・機能向上事業の推進	新規	中央図書館	・改修のあり方を検討中
	全ての市民が安全・快適に施設を利用できるようにするため、また施設・設備の機能向上を図るため、計画的な改修に努めます。			

「宇都宮市読書活動推進計画」の概要

I 計画について

- 1 計画策定の必要性**
「第1次図書館機能・サービス向上計画」、「第2次子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の推進等を図ってきたが、電子図書などのICTへの対応や子ども読書のまち宇都宮の更なる推進、さまざまな市民の読書活動への対応や図書館の老朽化などの課題への対応が求められている。
- 2 計画策定の考え方**
本市における市民の読書活動を総合的に推進していくためには、「図書館機能・サービス向上計画」と「子ども読書活動推進計画」を統合して一体的に推進することが効果的であることから、より大きな概念でのくりによる「(仮称)宇都宮市読書活動推進計画」として改定した
- 3 計画の位置づけ**
「宇都宮市地域教育推進計画」に基づき人づくりを進める中で、特に本市の読書推進に焦点を当てた個別計画とし、関連する計画等との整合を図るものとする。
- 4 計画の期間**
平成25年から平成29年までの5年間

II 本市読書活動の現状と課題

1 読書活動を取り巻く状況

- (1) 社会情勢の変化**
 - 高度情報化社会、高齢社会の進展
 - 市民ニーズの高度化・専門化
 - 子どもの読書量の低下
- (2) 国や県の動向**
 - 「図書館法」等の改正による図書館の役割の明確化
 - 報告書による県立図書館像の明確化
- (3) 「第2次宇都宮市地域教育推進計画」**
 - 本計画の上位計画であり、「読書環境の充実」を取り組みのひとつとする。

2 これまでの取組の成果と課題

- (1) 第1次宇都宮市図書館機能・サービス向上計画**
 - ◎成果
 - 高度化・専門化するレファレンスへの対応
 - 資料の貸出数・予約数の飛躍的な増加
 - *貸出数 約1.23倍：3,784,677点(H19)→4,636,568点(H24)
 - *予約数 約2.07倍：264,812点(H19)→550,503点(H24)
 - 南図書館への一部指定管理者導入、管理運営体制の見直しの推進
 - ◎課題
 - 電子図書など新たなサービスや高度化するICTへの対応
 - 施設設備の計画的な改修
 - 図書館登録率の増加
- (2) 第2次宇都宮市子ども読書活動推進計画**
 - ◎成果
 - 子どもの読書量の維持・増加
 - *小中学生の1か月の読書量(H24) 中核市トップクラス
 - 小学生28.5冊(10.5冊)、中学生9.2冊(4.2冊) (内は全国平均)
 - ◎課題
 - 地域ぐるみの子ども読書活動の推進
 - 高校生の読書活動の推進

3 市民の意識

- 図書館利用目的は調べものや情報入手のため(50.6%)
- 図書館に望むことは、調べたいことがわかる本があること(80.5%)
- 図書館サービスで使ったことがあるのは、本の在庫調査や調べものの相談(73%)

4 今後の市民の読書活動推進に向けた課題

- (1) あらゆる市民の読書活動の充実**
 - 高校生や大人の読書活動の推進
- (2) レファレンス・課題解決型サービスの更なる強化**
 - レファレンスに的確に対応できるレファレンスツールの充実
 - 地域の課題解決に役立つ情報を収集提供することによる人づくり・まちづくり活動の支援
 - レファレンスに対応できる司書の能力向上
- (3) 子どもの読書活動の推進**
 - 小中学校への読書支援の継続
 - 高校生への読書推進事業の充実
 - ボランティアの人材育成
 - 特別支援学校などとの連携
- (4) ICTの導入促進と電子情報サービスの充実**
 - データベースなどによる情報提供の充実
 - デジタルアーカイブの推進
 - 電子図書等、新たな媒体の導入検討

(5) 図書館の環境整備と適切な図書館運営

- 図書館サービスを、市民に広くPRするなど、更なる利用の促進
- 快適で誰もが利用しやすい施設への再整備
- 中央館機能の向上や他機関との連携など、効果的・効率的な管理運営体制の充実

III 基本的な考え方

基本理念

「市民や地域の課題解決支援やICTへの対応など、読書環境の整備を図るとともに、子どもを含めた市民の読書活動を推進します。」

基本目標

- 1 多様な図書館サービスを利用するなど、あらゆる市民が読書活動に親しんでいます。**
 - 基本指標1 図書館資料の貸出冊数
4,566,016点(H23) ⇒ 5,000,000点(H29)
 - 基本指標2 図書館の登録率
33.1%(H23) ⇒ 34.6%(H29)
- 2 図書館、地域、学校の連携のもと、宮っ子が読書活動や学習活動に励んでいます。**
 - 基本指標3 高校生の1か月の読書量
1.4冊(H23) ⇒ 2冊(H29)
 - 基本指標4 子どもの読書に関わるボランティアの活動人数
1,236人(H24) ⇒ 1,600人(H29)
- 3 個人や団体、地域がそれぞれの課題を解決するために、図書館サービスを利用しています。**
 - 基本指標5 レファレンスに対する利用者満足度
52.6%(H23) ⇒ 62.6%(H29)
- 4 市民が高度情報化に対応した資料や設備を利用し、ニーズに応じたデジタル情報を活用しています。**
 - 基本指標6 図書館のインターネット端末の利用件数
21,305件(H23) ⇒ 30,000件(H29)
- 5 図書館の適切な環境整備と運営により、市民が快適に図書館を利用しています。**
 - 基本指標7 図書館の読書環境に関する利用者満足度
82.0%(H23) ⇒ 85%(H29)

IV 具体的方策

基本施策1 市民の読書活動の推進

- 施策1 さまざまな市民の読書活動の推進**
- ◎★読書活動ガイドブックの作成・配布
 - 図書館祭りの開催
 - ★読書活動の啓発事業の実施
 - ★カフェトーク(合同読書会)の開催
 - ビブリオバトル(知的書評合戦)の実施
 - ◎ センター図書室等の地域性や利用者層に合ったサービスの提供
 - さまざまな利用者への情報提供の充実
 - 電子情報等への対応
- 施策2 子どもの読書活動の推進**
- 妖精ミュージアムにおける絵本の読み聞かせ
 - 「家読(うちどく)」の推進
 - 親学情報誌の発行
 - ★読書活動の啓発事業の実施(再掲)
 - 子どものためのレファレンスや調べ学習への支援
 - 「うつのみやこども賞」事業の実施
 - ◎ 学校図書館・読書活動の充実
 - 学校図書館の整備・充実
 - 学校図書館司書業務嘱託員等の育成
 - 図書館と学校図書館の連携の充実
 - ◎ 高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画
 - 高校生の本や読書に関する情報交換・発信事業の実施
 - ★「高校生のための読書推進講座」の実施
 - 子どもや中・高校生(ヤングアダルト)向け図書館ホームページの充実
 - ★まちかどの学校・つげの木教室、とらいあんぐる(教育センター)へのサービスの実施
 - ◎ 読み聞かせボランティア育成事業の強化

基本施策2 レファレンス・課題解決型サービスの強化

- ◎ 地域資料・情報の収集と提供の充実
- ◎ 科学・技術・ビジネス情報提供サービスの充実
 - 宇都宮プロスポーツアーカイブ事業の充実
 - ★宇都宮のアグリビジネスブランド化への支援
- ◎ 子育て・家庭生活支援情報の充実

基本施策3 ICTの推進や電子情報の提供

- ◎ 図書館情報システムの更新
- ◎ 図書館におけるICT環境の整備

基本施策4 適切な図書館運営や環境の整備

基本施策5 効果的・効率的な管理運営体制の充実

- ◎ 管理運営体制の充実
 - 司書の専門性を発揮できる職員体制の整備
 - 自主財源確保に向けた取組の充実

基本施策6 施設の再整備の計画的な推進

- ★図書館施設の改修・機能向上事業の推進

- ◎：重点事業
- ★：新規事業
- ：継続・拡充事業

V 計画の推進

- 1 計画の進行管理** 事業の取組状況について、基本指標により進行管理を実施するとともに、進捗状況については、「社会教育委員の会議」や「参考人」へ報告し、意見を聴取する。
- 2 計画の推進体制** 本計画の着実な推進を図るため、施策・事業の実施にあたっては、図書館、生涯学習センター図書室等、さらに市民、家庭、学校等が連携することにより、様々な事業に取り組む。

平成 27 年度第 1 回 図書館事業に係る意見交換会について

- 1 日 時 平成 27 年 8 月 26 日(水) 午後 2 時 55 分～4 時 25 分
- 2 場 所 宇都宮市立中央図書館
- 3 出席者 参考人 7 名 (関係機関 2 人, 学識経験者 1 人, 関係団体 3 人, 利用者 1 人)
- 4 主な意見
 - ・ 宇都宮市は南図書館を中心に学校支援サービスが充実しており, 他市町から羨ましがられている。小中学生の読書量は多いが, 高校生になると不読者が多くなる。対策はどの様にしているのか。
 - 南図書館は宇都宮工業高校のそばにあり, 今年度は図書館まつりに同校の生徒にボランティアとして参加していただいた。中央生涯学習センター図書室にティーンズコーナーを設置し, また, 読書推進ガイドブックを高校 1 年生に配付して利用につなげたいと考えている。
 - ・ 高齢者について, 図書館に来られない方への対応として, 学校への団体貸出と同様にデイサービスに貸出しするなど, 地域包括支援センターのケアマネージャーに PR するとよいのではないかと。
 - ・ 宇都宮アグリビジネスブランド化への支援について, 地域ブランドの発掘・創造支援のためとあるが, これを何につなげていくのか。
 - 市の経済部において農産物のブランド化の動きがあり, これを図書館でも支援することにより, 産業の振興に寄与していく。
 - ・ 図書館のホームページにイベント結果が速やかにアップされたり, 中央図書館のロボビーの展示が明るくなり, 図書館の Q&A が分かりやすく掲示されていたり, すぐに結果は出ないが図書館が変わってきていることを感じる。
 - ・ 司書は専門職であるという認識は, 市の上層部にも伝わっているはずだ。近年はイベントの開催が増えているが, 資料がきちんと揃っており, 質問にきちんと答えられる人がいることが必要で, そうすれば中高生になっても図書館に来るようになり, 読書習慣が身につくようになる。日常の図書館のあり方が重要である。
 - ・ 中央図書館は文化会館と駐車場を共用しているので, 障がい者用駐車スペースが不足しがちである。障がい者のプレートがぶらさがっていない車も見受けられるので, 注意喚起をお願いしたい。

南図書館の指定管理者の指定について

◎ 趣旨

南図書館の指定管理者の指定について報告するもの

- 1 施設の名称 宇都宮市立南図書館

- 2 指定管理者の主な業務
 - (1) 事業の実施に関する業務
 - ア 図書館資料を一般公衆の利用に供し、その利用のための相談に応ずること。
 - イ 読書会，研究会，鑑賞会，映写会，講演会，資料展示会等を開催し、及びその奨励を行うこと。
 - (2) 図書館の利用の制限に関する業務
 - (3) 図書館の維持及び管理に関する業務

- 3 選定方法 公募

- 4 指定の期間 5年間

- 5 申請団体数 1団体

- 6 指定の相手方 紀伊國屋書店・大高商事・藤井産業・日比谷花壇共同事業体

- 7 指定管理料 指定期間の総額で610,000千円
(年平均122,000千円)

- 8 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

平成 28 年度 社会教育関係団体に対する補助について

◎ 趣旨

平成 28 年度の社会教育関係団体に対する補助金の交付について審議するもの

1 社会教育関係団体への補助金交付の条件

(宇都宮市社会教育関係団体補助金交付要綱による)

- (1) 本市に事務所を置き，本市域内で社会教育活動を行っている団体
- (2) 営利を目的とせず，会員が自主的に運営している団体
- (3) 本市社会教育の振興に寄与すると認められる事業を行う団体

2 社会教育関係団体への補助金に関する関係法令

○社会教育法第 13 条

「国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には，あらかじめ，国にあつては文部科学大臣が審議会等で政令で定めるものの，地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には，条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。」

団 体 名	宇都宮市子ども会連合会	宇都宮市PTA連合会
代 表 者 名	橋 本 裕 文	金 田 淳
事 務 局	宇都宮市天神1-1-24 宇都宮市教育センター内 (TEL632-1155)	宇都宮市天神1-1-24 宇都宮市教育センター内 (TEL632-7856)
会 員 数	子ども会員 約26,300名 育成者,指導者 約13,400名	約38,000名
目 的	各地区子ども会育成会連絡協議会(地区子連)相互の連携を強化し,各地区子ども会活動の活性化に努め,もって次代を担う青少年の健全育成に寄与する。	単位PTA相互の連絡と協力による児童・生徒の健全な育成,各PTA組織のさらなる発展等の共通目的の達成を目指す。
27年度の補助対象事業	○指導者育成者研修会(年2回) ○宇都宮リーダースクラブ(高校生)の育成強化 ○地区子連活動の助成	○校長・会長研修会 ○指導者研修会 ○単位PTA研修補助 ○ブロック活動 ○常置委員会の活動 (組織運営委員会・広報委員会・生活指導委員会・研修委員会・保健体育委員会・学年学級委員会) ○市P連新聞発行(年2回) ○文化活動
備 考	類似団体 ・青少年育成市民会議 青少年の健全育成を図るため市と共催で事業を実施。39地区青少年育成会と26団体で構成。 (子ども未来課所管)	
27年度市補助額	1,100,000円	950,000円

団 体 名	宇都宮市地域婦人会連絡協議会	宇都宮ユネスコ協会
代 表 者 名	楢 渕 澄 江	長 門 芳 子
事 務 局	宇都宮市弥生1-7-2 (会長宅 TEL636-3842)	宇都宮市駒生町3351-50 (会長宅 TEL625-0050)
会 員 数	約480名	会員20名, 青年会員11名
目 的	市内各単位婦人会の連絡提携を進め, 会員の教養向上と親睦融和を図り, 地域社会の福祉と文化の発展に協力し, 社会教育の振興に努力する。	ユネスコ憲章の精神に基づき, 教育・科学・文化を通じて国際的相互理解と地域社会の発展に努め, 世界平和と人類の福祉に寄与する。
27年度の 補助対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者研修会 ○県・市会長研修 ○消費問題学習 ○文化祭展示会 ○市婦連だよりの発行(年2回) ○各地区婦人会への助成 	<ul style="list-style-type: none"> ○第11回ユネスコ絵画展「絵で伝えよう!わたしの町のたからもの」開催 ○青年部育成事業 ○会員研修事業
備 考	類似団体 ・交通安全母の会(生活安心課所管) ・宇都宮市女性団体連絡協議会(男女共同参画課所管)	類似団体 ・いっくら国際文化交流会(国際交流プラザ)
27年度 市補助額	400,000円	100,000円

団 体 名	宇都宮市文化協会
代 表 者 名	安久都 和 夫
事 務 局	宇都宮市旭1-1-5 宇都宮市教育委員会文化課内 (TEL 6 3 2-2 7 4 6)
会 員 数	約600名
目 的	芸術及び文化関係者の連絡協調と親睦を図るとともに、広く市民の参加を求め本市文化の向上・振興を目的とする。
27年度の補助対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・会報発行 ・文化協会誌発行 ・ふれあい文化教室（芸術文化講師派遣事業） ・うつのみや文化協会まつり ・スケッチ会 ・夏休み子どもマジック教室 ・大人向けマジック講座 ・文化探訪 ・宇都宮市文化協会会員展 ・その他の文化事業の実施
備 考	<p>市内の各分野で活躍している芸術家を統合している団体であり、類似団体は無い。</p> <p>特に、会員が次代を担う市内の小中学生を対象に、日本の伝統芸能である邦楽や日本舞踊、和太鼓などの普及啓発を行う「ふれあい文化教室」や、様々な分野の芸の披露を一堂に会して行う「うつのみや文化協会まつり」を積極的に実施している。</p>
27年度市補助額	1,380,000円